平成28年4月

議会と語ろう会

平成28年 4月26日27日28日 実施

町民からの質問・要望等への回答

【完全版】

殿村ふれあい会館

藤巻集落改善センター

浅見集落生活改善センター

清水交流センター

永平寺町議会

お問合せ：議会事務局　TEL 61-3950

「議会と語ろう会」町民からの質問要望への回答

○議員定数削減について

問：旧松岡町では２４名いたこともあった。議員の数を減にすると町民の声が届かないという声もある。１４名では議会活動がうまくいかないと思うがどうか。

【志比堺ふれあい会館】

答：議会の中で話し合ったが賛成多数で決まった。権限の大きな首長を民意でチェックする議員個々の力量強化が必要。本町の議会は全議員が一般質問をする活発な議会である。議員自らのさらなる資質向上に努め、円滑な議会運営に努める。

問：財政が厳しいから議員を減らそうというのに、議員報酬を上げるのは問題である。政務活動費は考えられるが、報酬引き上げはおかしい。　【志比堺ふれあい会館】

答：１８名から１４名になると、活動範囲が広くなる。新しい議員が決めていくことになるのではないか。

問：選挙のたびに平均年齢が上がる。若者が出られるような改善の方法はあるのか。

【志比堺ふれあい会館】

答：若い人が出られる環境が必要。報酬など生活の保障を整える必要がある。議員の数が減ると意見も減るのではないかというが、議員個々で聞く耳を立て、議会活動をやっていく。また議会全体として聞くことができる仕組みを作っていくつもりである。

問：定数減には賛成する。若い人も結構だが年配の人がいてもよいのではないか。

【志比堺ふれあい会館】

答：女性や若い人が出にくくなる問題がある。議会報告には各議員の立場が出ている。定数減で千票必要となると大変。門戸を広げていたほうが良い。議会不要論もあり、当議会では語ろう会のように議会改革をやってきた。

問：議員定数には正解はないと思うが、４人減は町の財政を考えてのことか？その分報酬を上げるのなら、今までの定員でよい。（町民の意見の反映面から）他市町の状況からなのか。

【兼定島集落生活改善センター】

答:町の人口から考えると､他市町と同じくらいになった｡町財政を考慮して今回の定数にした。報酬等については今後検討していくが、若い人や女性が出やすい環境は必要、生活保障面から子育て、住宅手当等も必要と考えられる。

問：若い人や、議員が活動しやすい方法、たとえば夜間や休日議会もあるのではないか。

【兼定島集落生活改善センター】

答：過去にも行った経緯はある。行政との調整が必要であり、課題として検討していく。

意見：定数削減については地区を代表して地域の意見を届けるのに、地域に議員がいないでどうするのか。財政的にというのも分かるが地元の意見を聞けないことになる。住民の意見を代弁するために減らす必要はない。　【殿村ふれあい会館】

問：合併後の今の議員数で足りているのか、余っているのか。議員数を減らして報酬を上げるというのか。昔は集落ごとに議員がいたが 14 名にして意見を吸収できるのか。賛成、反対以前の問題だ。　【殿村ふれあい会館】

問：ケーブルテレピを見ていると質問はしているが答えを本当に要求していないように見える。ただアピールだけだ。議員の平均年齢が高すぎてだめ。金を稼いでいる人がならないとだめで年とった人は意欲が無い。若い人が出られるシステムを作らないといけない。定数を 3 分の 1 にして 50 万円にするのもいい。　【殿村ふれあい会館】

答：前々から話はあったが決定までいかなかった。今回はやはり 18 名では多いのではないかと再度協議し、近隣市町の現状を踏まえ 14 名と決定した。議員報酬・政務活動費については今後協議する。

問：4 名減の根拠は？　【殿村ふれあい会館】

答：県内の各町の人口・議員定数の現状を参考。

意見： 若い人が議員になっても子育て、生活できるようにしなければならない。民主主義を考えるとお金はかかる。　【殿村ふれあい会館】

問：進行する人口減少や、今後の交付税削減から予想される財政圧迫に備えるべく、議員定数を 14 人が妥当と決定し削減したという。そこを定数削減すれば議員一人当りの活動量が増えるからと報酬を引上げるのでは定数削減した意味がないと思うが。

【藤巻集落改善センター】

答：議員一人当りコストは、共済費含めH27 年 8 月基準では 473 万円、議員 4 人削減されれば△1,892 万円となる（H28 年 4 月基準では△17,876 千円）。現状、県下各町の議員月額報酬で本町は下から 2 番目の月額 22 万円。期末手当含む年間ベースでも同じく下から 2 番目の月額 28 万 2 千円である。今後若い世代、例えば子育て中の 40～50 代の方が、永平寺町の町づくりに関わるべく議員活動に取組みたいと一念発起しても、この水準では二の足を踏むのではないかと考える。せめて県下 8 町のうち半数の 4 町の水準、月額報酬 235 千円、年額ベースの月額 30 万 5 千円程度にならないかと思う。（増額しても差引 1,400 万円程度の減と定数削減効果は有る)。現状はこうした議論も出ているが決定ではない。現状のままという意見も多くある。

問：仕事をしながら議員をやる人には保障はいらないだろうが、サラリーマンを辞めてでも議会活動するという若い人には、議会活動に専念できる水準を保証してあげることも必要かと思う。但しその時には必要経費も見て、議会が無い日でも議会活動（政策研究・調査・民意

吸収等）に専念して貰わねばならない。　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：会社勤めの若い人が議会活動に関われるようにする為に、日中ではなく夜間に議会を開催するとか、土日の休日に議会を開催するとかの方法もある。また年金受給している議員では在職年金で年金減額となり報酬引上げの効果はあまり無いが・・・。いただいたご意見を踏まえ、若い方が議会活動により参画しやすい体制を整えるため、今後とも議論を深めて行きたい。

問：議員の報酬額は分かっていて選挙に出ているはずだから、報酬が少ないから上げてくれというのは会社勤めの感覚から言えば理解できない。政務活動費は分かる。少子化対策についての取組みも、全国1600から1700の自治体が少子化という同じ悩みを抱えて対策を講じている。他と同じような対策を掲げてこれで人が来るのか。仕事がないと人も来ない。目標もありきたりではないか。地域資源を活用すると言うが具体的な目標を掲げるべきではないか。

【春日３丁目ふれあい会館】

答：議員報酬についての討議理由は、長崎県小値賀町の例にもあるが、３０代～４０、５０代の子育て世代が地方政治に関心を持って頂く為にも、家族を養える報酬に近づくにはという発想からの問題提起。現状の月額報酬は２２万円、賞与等入れた年額ベースで月額２８万２千円。定数減４名で削減効果は約１，６００万円、若い議員に配慮した報酬基準にしてもそれをそのまま割り返す発想ではなく、その何分の１かを充てられないかという問題提起。また、定数削減のコスト削減効果が出るのは次の一般選挙からなので、報酬見直しも次の一般選挙後からと考える。

問：議員定数１４は何故１２、１６でなく１４なのか。定数削減について私はアンケート取られた覚えはない。住民の声をもっと聴いてから討議すべきで拙速ではないか。住民投票も出来たのではないか。　　　　　　　　　　【春日３丁目ふれあい会館】

答：以前からの議会と語ろう会に出席された方のアンケート集計結果では、議員定数が多いという声が過半数を超えていた。また、なぜ「１４名」かも議会行財政改革特別委員会で審議を深め、有効に委員会討議が出来る人数は何人が望ましいかなど、１年余りにわたり十数回の議論を重ねた結果である。

答：議員定数はそれぞれの議員がそれぞれの支援者からの考えを聞きながら、併せて委員会で議論を進め、最終的に多数決で決定した。また、議員定数の決定を住民投票で決めることが適正なのかという疑問もあった。議員間で議論し種々の要因を模索し、議員が決めることがふさわしいと考え今回の結論となった。

問：最近の議会の中では我々の意を汲んでくれたと快く思っている。議員報酬についても勉強をし、仕事をしてもらう為にはある程度の報酬は必要でないかと思う。

【春日３丁目ふれあい会館】

答：報酬改定の時期は次の一般選挙（平成30年）の時からと考え、今は議論している段階。次の選挙の際、若い人にも立候補しやすい報酬額を模索しながら議論している。

意見：議員が議員報酬が少ないからとアルバイトをするのでは町政に没頭できない。町の為に仕事をしてもらうには、ある程度の生活の基盤を築ける報酬は必要だと思う。若い人の生活基盤確保に努め、年配の議員報酬にはボランティア的に協力いただくことには賛成する。

【春日３丁目ふれあい会館】

問：議員年金はいくらか。期末手当含めて年間どのくらいか。　　【春日３丁目ふれあい会館】

答：議員年金は廃止されて今はない。

答：期末手当を含む年間支給額は月額ベースにして月額２８万２千円。

問：議員提案の議案は（年間）何件か。　　【春日３丁目ふれあい会館】

答：年間数件。（H26 議員提出：条例 2 件、請願・陳情・意見書計 9 件、その他 15 件）

答：議会だよりに付議事件と賛否結果記載し報告している。委員会討議内容も報告している。

問：行政の上程案は住民の要望書から上がるのがほとんどか。行政だけで上がるのもあるのか。

【春日３丁目ふれあい会館】

答：要望書から上がるのもある。将来を考え町が国・県の補助を確認しながらというものもある。

問：１４人は何故１４人なのか。　　【志比公民館】

答：４人減で人口規模が同規模の他町の議員一人当りの人口と、バランスがとれる様になることも要因の一つである。

問：人口バランスだけで定数が決まるものでもないように思う。かつてはこの地区にも議員がおり親しく話せたが、議員が少なくなり議員が遠くなったように感じる。　【志比公民館】

答：住民の意識、要望を吸収する議会の重要な仕事と考えるので、減らすだけがいいとは決して思っていない。ただ、町の財政状況も勘案しながら、議員定数の決定因子の議論を重ねていくと一定のレベルに収束していった。議員定数減の中で、これからは住民の意識、要望を議員の方から出向いたり、ＳＮＳを利用しながらリアルタイム、双方向で町民の意向を汲み上げることが必要になると考える。これからは、議員一人一人が町民の方の所へ出ていくことが一層重要になると考える。

こちらからお聞きするが、（議員が行う調査研究、研修、広報、住民相談、各種会議参加、町政課題・町民意思の把握に必要な活動に要する経費に交付する）政務活動費の採用についてはどう考えるか。現在県内の町では高浜町が月額 8,500 円の政務活動費を支給している。

意見：町民の中へ入って勉強してもらうという意味で、これくらいはいいのではないか。

【志比公民館】

問：報酬・政務活動費について、近隣市町と比較するのはよくない。他市町があるからではなく、研修等の政務活動に対し当永平寺町のＰＲを活かすよう努力が必要。　【ふるさと学習館】

答：あくまでも参考になればと申し上げた。またＰＲについては、議会だより等で生かしている。

問：若い人や、女性の方が議員になろうと意欲が出る報酬は必要ではないか。
【ふるさと学習館】

答：議会ではこれからの世代の方が、議会で活動できるように、行政職員等の手当て等も参考に議論していく。

問：議員も町民のために議会のフェイスブック等で積極的にＰＲの工夫が必要。また、自分の支持者との語る会を実施してから、この語る会に臨んではどうか。　【ふるさと学習館】

答：議員それぞれ、支持者等と積極的に意見を交わし、日頃より勉強している。

問：議会と行政が切嵯琢磨し、議会も会派等を設け、特徴のある町づくり施策を、是非ともお願いしたい。　【ふるさと学習館】

答：現状に甘んじず、前向きに考える。

問：議員定数削減で 14 名は、よい判断だ。また、議員報酬を上げるのもやぶさかではないが、職員の住民に対する対応や説明の仕方が非常に悪い。行政職員の指導をするのが議員。
【清水交流センター】

答：議員は、日頃より職員に対する指導を心がけている。
職員の資質向上に関しては、議員の果たす役割は大きいと思う。

問：議員定数を削減し 14 名にしたから、報酬を上げるように見えて理解できない。本町の人口から見ると現状でよいと思う。　【谷口コミュニティセンター】

答：議会ではこれからの世代の方が、議会で活動できるよう、行政職員の手当て等も参考に議論していく。

問：議員定数については、住民の要望は必要なく議員で決めるべき案件と前回もアドバイスした。委員会については兼務するのはよくない。議員の活動が活発にできる制度にしてほしい。
【谷口コミュニティセンター】

答：現在３つの常任委員会があるのを、統合し２つに分ける案や複数の委員会を兼ねる案が出ているが、一番大切な議会活動が活発に遂行できるよう考えている。

問：政務活動費については、誰が見ても胸張って言える活動であれば賛成。これも議員同士で決めるべき。　【谷口コミュニティセンター】

答：町政に反映され、また住民福祉の増進に期するための活動経費。

問：議員定数削減により、議員一人当たりの活動量が増加することは解るが、民間企業ではリストラで人員が削減しても給料は上がらない。民間企業並みに報酬の増はやめてほしい。
【吉野堺集落生活改善センター】

答：議会の中でも、増額とか据え置きとかの意見がある。現在の報酬は合併時に定められた金額でその後改正されていない。現在検討中なのでご意見を伺いたい。議員活動については、以前とは比較にならない量になっている。年間平均９０日で多い人は１００日を超えている。これは実活動時間で、拘束時間では２００日になる。

問：若い人が立候補しやすいように、特別の手当ても考えているとのことだが、どういったものを考えているのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：扶養手当などを検討している。報酬が上げられないのであれば、手当を付けることで出やすい環境を作ってはという意見もある。議員の任期は４年間であるが何の保証もない。

提案：議会・委員会を欠席した時は、報酬を減額すべき。　【吉野堺集落生活改善センター】

問：本町では１８名という議員はいらない。１４名に減員することに大賛成。４名削減すると年間でいくらの経費を削減することになるのか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：ひとりあたり年間約４００万円、４名で約１６００万円の削減になる。

問：４名削減しても報酬や活動費を上げるということになると経費の削減にはならない。地方交付税が下がるので、議員の報酬を上げるのはおかしいと思うので聞きたい。

【鳴鹿集落改善センター】

答：議員報酬については、少し上げようかと議会で議論している。

問：なぜ報酬を上げるのか。年間４００万円の収入は普通一生懸命働いても、なかなか得られない金額である。議員も本業を持っている人もいるので、据え置きで良いのでは。

【鳴鹿集落改善センター】

答：議員報酬については、決定していないが、議員間での話では若い人が議員になると、家族もいるので生活ができない。現行の議員は副業をしていたり年金をもらっているのがほとんどである。現行の議員報酬は一律であるが、今後は一律でなくてもいいのではないかという話もある。

問：それはおかしい。

答：同じ仕事なのに報酬が違うのは確かにおかしいと思う。しかし、仕送りをしないといけない子どもがいれば、やはり生活は厳しいと思う。

問：議員は高い報酬をとっているが、毎日遊んでいるようなもの。ほとんどの人が本業を持っている。　【鳴鹿集落改善センター】

答：皆さんのご意見を真摯に受け止めて持ち帰り、議論していく。

せっかく議員を減らしたのに報酬を上げれば同じでないかという意見を聞いている。県下で一番低いのが池田町、永平寺町はほとんど変わらない。上げると言ってもすごく上げるものではない。県内７町で下から２番目なので、少し上げたらどうかということである。議員の総意ではない。補足すると、報酬と手当では一人３３０万円、それに共済費を含めると一人

約４００万円となる。

意見：今は議員報酬を上げたり、手当をつける時期ではない。議員がしっかり仕事をして、永平寺町も変わってきたという裏付けがあってから、初めて議員報酬の話でしょう。
【鳴鹿集落改善センター】

問：近隣市町の議員一人当たりの人口は何人か。　【鳴鹿集落改善センター】
答：越前町が１，４００人ぐらい。永平寺町は１，０７９人。その他の町は１，０００人を切って、７００～９００人ぐらいである。

問：議員定数が１４名に削減すると一人当たりの人口は１，２００人ぐらいになるのか。
【鳴鹿集落改善センター】
答：その通り。

問：４人の定数削減により議員活動は大変であると思う。減員になった４人分の報酬を加算して現行の１．５人分の報酬にすれば、優秀な人が議会に出ることになるのではないか。政務活動費と両方計上はだめ。　【浅見集落生活改善センター】
答：ご意見を委員会で検討する。

問：議員は議会に出席するのが責務。全ての議員が８０%以上出席すべきである。議員間で話し合うべき。　【浅見集落生活改善センター】
答：議会だよりの中に議員の出席一覧表があるが、ほとんどの議員は９７%の出席率となっている。出席率の低い人は病気や議会以外の公務あるいは家庭の事情等で出席できないことによるものと思われる。

問：政務活動費は良いと思うが、月額２～３万円とするならば報酬は上げなくてよい。報酬も政務活動費も上げるのは如何かと思う。冠婚葬祭に多額の費用が必要とは思うが。
【浅見集落生活改善センター】
答：政務活動費は新聞等でも問題視されている。政務活動費の使途については議会基本条例の中で決めるべきである。政務活動費から冠婚葬祭費用を拠出することはできない。

〇ストップ・人口減少　少子化対策

問：志比堺は、区画整理をやったことで定住者が増加し、子供会も３０年前には５０名ほどいたが、どんどん減ってきており、現実として難しいと思う。
この程度の対策では減る。例えば３人目は２００～３００万円を出すくらい思い切ったこと

をやらないといけない。本県は日本一住みやすい県といわれているが、仕事場もなく若い人には本当に住みやすいのか。

仕事場、企業誘致の計画はあるのか。K社は１００名ほどの雇用がある。町の土地を企業に提供できないのか。　【志比堺ふれあい会館】

答：　議会でも話題になるが、現実的には難しい面もある。旧松岡町の定住促進は行政主導でやってきた。小規模開発などスピード感をもった対策が必要である。本町には工業団地、工業用地の指定がないので、企業が進出しにくい面がある。

問：空き家の利用などで、お試し住宅などあればよいのだが、地区が温かく迎えられるのか。国道４１６号線沿いの町が寂れており、今後の課題だ。転入者を増やしていくことが必要ではないのか。　【志比堺ふれあい会館】

答：本町も、ほどほどいなか体験事業、４５歳以下の人には住まいる事業、各世代同居支援、Uターン・Iターン空き家利用等各種の事業を行っている。

問：人口減少、少子化には関心を持っている。宅地整備の予算があるが、御陵地区の区画整理に対して議会はどう考えているのか。　【兼定島集落生活改善センター】

答：旧松岡町は町主導で行ってきており、一定の成果があった。（清流地区や吉野地区で）

現在は、若者定住対策として補助をしている。特に人口減少の大きい上志比・志比北地区には手厚くしてあるが、大きな宅地開発ではなく小規模での対応であり、区画整理計画はない。

問：人口減少・少子化に対しては、地域として区民の将来ビジョンが必要。いろんな考えを持っているが、地域住民が考え決めることで、住民の仕事だと思う。御陵地区は若い人が定住できる地域であると思う。

行政、議会は地域の特性を生かし、人口減少とならないよう町全体を考えるべき。地域の特性を考え、全体的方向性から地域に合った計画をすべき。議会はこの地域をどう考えているのか。　【兼定島集落生活改善センター】

答：行政は、第２次総合振興計画を策定中であり、議会として審議員に参画しかかわっていく。各地区の振興会で検討されていく中で議員が加わり地区振興を協議することになる。御陵地区は学生のまちという考えから、対象者の住環境面からの考え、病院関係の環境も考慮する必要があると考える。議員の質疑や一般質問からも出ている。

意見：出生率を上げるために　一人生まれるごとに祝い金を出して経済的負担を少しでも軽くするように思い切った施策が必要だ。　【殿村ふれあい会館】

意見：若い人が少ないため地区の付き合いなどいろんな役が回ってきて、負担が大きい等から若い人が嫌う　。　【殿村ふれあい会館】

意見：宅地開発する上でこの地区は地震に強い、洪水も無い、自然豊かで、日当たりよく住みやすいところだが交通の利便性が良くないと思う。　【殿村ふれあい会館】

問：企業誘致、働く場所があれば若者が住めるようになる。　　　　　　　【殿村ふれあい会館】

答：下浄法寺に黒龍酒造が、見学コースを含めた工場を建設予定であり進められている。完成すれば関連する施設なども期待され地区にとっても良いのではないか。

宅地開発も行政がやれば安価で売りに出されるが、地域の協力が必要となる。町が平成27年に上志比地区・浄法寺地区を対象に調査を進めている状況である。

問：地区別の人口減少の比率は如何か。　　　　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：もう少し細かく投票会場別に人口減少を比較した数値がある。

当地区は１７投票地区、Ｈ１８年比10年間で13.74%の減になる。

問：2060年に19,000人維持は高い目標ではないか。企業誘致といってもそう簡単にできるものではない。具体的な誘致企業、誘致場所は考えてあるのか　。　　　【藤巻集落改善センター】

答：北インター周辺等で問い合わせはあり、法寺岡の永平寺タケダあとには美山から日本ＡＭＣが進出するなど決まった先もある。各自治体とも誘致企業に対するいろんな補助や優遇策を謳っており、財政力があり財政規模の大きい市が有利になる。

問：単に企業誘致と言ってるだけ。受け身ではなく出かけていく、トップセールスに行くことが重要ではないか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：　行政に伝える。

問：昔あった商店街はさびれてしまい、今の商店街はお粗末な状況。商店街の活性化の方策はないのか。町は商工会任せでなく、商工会とタイアップしてリーダーシップを取って強力に活性化を進められないか。　　　　　　　　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：町はインバウンドを含む交流人口拡大に取り組んでおり、観光客拡大を商工観光業活性化に資するべく、地域資源を活用した新ブランド創造等に取り組んでいる。商工業活性化には町だけでなく、商工会と連携して各種施策を行う予算付けをしている。また、大本山永平寺に来た観光客を町内の見どころや名所へ回遊してもらい、食文化や歴史に触れる方策を実施すべく企画検討している。

問：永平寺町は大本山永平寺、勝山には恐竜博物館、大野には天空の城大野城があり、恐竜博物館には１００万人が訪れる。この３市町が広域連携して強力に誘客は出来ないのか。

【藤巻集落改善センター】

答：町も広域連携の必要性・重要性は十分認識しており、あわら市、坂井市、勝山市、加賀市、永平寺町の４市１町で「越前加賀宗教文化街道～祈りの道～推進協議会」を立上げ、県境を越えた広域的観光資源を結び付け首都圏にアピールしてきた。これをさらに街道のみならず、食や温泉、自然などの観光資源も生かした旅行ルートを作り国内だけでなく海外からの観光客誘致にも力点を置くべく、推進協議会を発展させて新たに官民一体の「越前加賀インバウンド推進機構」を設立した。また福井市もＪＲ福井駅東口―県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館―復元街並み―大本山永平寺を往復する「一乗谷朝倉特急バス」の運行を開始しているが、通

年平日運行３便、土日６便運行に拡大するなど広域連携の必要性は行政も十分認識しており、本町も同じ目線にある。

意見：スーパーが来ることにより活性化になる。　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：デイジー・ラッキーがあり、そこにハニーが来る。ここにはメイトもありこの人口規模でやっていけるのかと心配である。地域商店にとっては共倒れになるのではないかと議会の中で反対の声もある。

問：空き店舗の活用の仕方、生かし方を考えるべきでは。　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答：１階店舗、２階住居というタイプが多く貸しづらい面がある。

意見：いいレシピ等は地域で共有して地域全体でセールス発信の取組みをするべき。例えば奥越での醤油かつ丼、坂井地区の辛みそばとか、武生のボルガライスなど、活性化にはその地区全体で取り組むやり方が必要では。　　　　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

（議会意見）：空き店舗活用ニーズが高まる為にも人口確保が必要と思う。町内外での本町の子育て支援の評価が高いことを生かし、地元の生活利便性の更なる向上と交通アクセスの改善により、居住者と交流人口の拡大を図る活性化の方向で新たな消費が創出される。小矢部のアウトレットモールや砺波のイオンモールなどの大型ＳＣの出現で、小矢部や砺波の既存商店街は閉店、廃店続出かというと決してそんなことはない。既存商業者の半数以上は影響ないといい、交流人口拡大で売上高増加という商業者もある。

意見：大学病院周辺のスーパー出店は、福井市の一部や丸岡地区などの町外から客を呼ぶという効果や、町内活性化の効果はあると思う。ただ、一部影響を受けるＳＣもあるかもしれないが。　　　　　　【藤巻集落改善センター】

（議会意見）：打撃をうけると思う。れんげの里も影響を受ける。

問：色んな施策でいいことは書いてあるが、具体的な実績がない。企業誘致でも実績が無いのではないか。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【春日３丁目ふれあい会館】

答：今年１件ある。東古市８番ラーメン前の法寺岡のＴ社跡に従業員７０名程度の１社が進出した。

意見：いろんな施策の紹介もいいが、その施策でどういう実績となったかを聞かせて欲しい。松岡公園整備計画にしても、公園下の急傾斜地を放置したままにして上を整備するのはおかしい。永平寺町１本になったのだから、旧３地区で何をするかでなく永平寺町１本でどうするかを勉強して取り組んで欲しい。その為には政務活動費・報酬が少ないというなら増額すればいい。スピード感をもって取り組んで欲しい。　　　　　　【春日３丁目ふれあい会館】

問：子どもが遊んでいない。少子化対策の問題はどうしているのか、町内区費の問題・転入者の町内会参加の問題等、住民の身近な問題をもっと議論してほしい。議員の問題よりも住民

の問題を優先して議論してほしい。　【春日３丁目ふれあい会館】

答：行政の説明に来たわけではなく、皆さんと問題を論議したい。子供が少ないという問題がある。行政は移り住んで頂く施策や子育て支援策を打ち出す。転入者が地域と溶け合って住んで良かったという地域になる為に我々議員も考えていかねばならない。

問：町中の空洞化が目立つ。その原因の一つが地主が土地を売ってくれないということがある。町内の空洞化を解決する方策を、例えば町で買い上げて（収容控除適用）宅地分譲するとか、行政も考えて貰えないか。お年寄りの一人暮らしの方が土地を売って転居された跡に、若い子育て中の夫婦が何組か転入してきた。我々もありがたい。ところが空地があっても売ってもらえないということで、松岡地区は小中学校も近く、子育て支援策も進んでいるなど居住的にはいい環境にありながら、空洞化したままになっている。　【春日３丁目ふれあい会館】

答：松岡地区の旧町内活性化のために空家、空地をどう有効活用すべきか考えていかねばならない。これまでも空地の有効活用について公共収容として活用してはどうか、町に提案している。

（進行）：市街地での空家・空地の活用について研究していきたいと思う。こうしたら住みやすくなる、こうしたら移住がふえるとかのご意見はあり有りますか。

意見：子育て世代で福井市から転入して来た。子育てについて本町はいいと思っている。子供の医療費や給食費について手厚いと思っている。１番目の子のとき福井市からお祝い金を貰った。永平寺町に転居後第２子、第３子が生まれたが祝い金は無かった。本町でもこれがあるといいなと思う。　【春日３丁目ふれあい会館】

問：田舎で暮らしたいという若い人もいるが、住んでからその地で就業できるか、起業できるかが大事。起業しやすい環境作り、起業資金助成とか、３年間、５年間バックアップをする様な制度はあるのか。固定資産の優遇制度はあるのか。　【春日３丁目ふれあい会館】

答：商工会を通した融資支援や「企業立地促進条例」での固定資産税優遇はある。（企業立地促進条例：用地取得助成金…用地取得費の 20％・限度 5000 万円、雇用促進助成金…町内在住者の新規雇用 30 万円/人、事業施設設置助成金…操業開始３年間固定資産税減免）

答：今後ソフトパークの研究スペースや起業者向け貸フロア制度の利用者との連携や本町内での起業支援・居住も本町のロケーション資源活用にならないか行政に確認したい。

問：転入者より転出者が多いということは永平寺町に仕事の場がないということ。規模の大小を問わず雇用を発生させる企業を誘致することが必要と思う。意見はどうか。【志比公民館】

答：法寺岡のタケダレース空き工場へ美山から企業が来た。インター周辺への進出問い合わせもあるようだ。近隣市町も同じような誘致活動をするが、財政力の強い自治体はかなりの条件を出す。工場回帰されたＫ社も、他市町からの誘致条件は本町を上回るものがあったとのこと。これに対抗するにはトップセールスが必要なのかも知れない。町が作った道の駅でも７～８人の雇用が生まれた。

答：県内他市町も工場用地造成を計画的に進め、進出企業の誘致活動を行っている。
本町北インター周辺も位置的には好立地だが、都市計画の用途地域指定で開発が規制されている事や地価が高くなりすぎた為開発が進まない。永平寺インターや上志比インター周辺も可能性は高まっている。まだ決定ではないが御陵地区へのスーパー進出の案件もある。交流人口の町内消費を通して、農商工の町内生産者、事業者の活性化、賑わい創出につながるとことを期待する。

問：資料に「空き家等利活用による定住促進」１件とあるが、永平寺町で今空家がどこに何件あるという資料はあるのか。【志比公民館】

答：３月空家情報バンクに登録件数２件。空家情報バンク登録で成約ある。志比の方でも空家があると聞いた。
（平成 27 年度空き家調査 265 軒、内廃屋 25 軒。空家情報バンク登録累計成約件数 10 件。
空家情報バンクを利用した空家購入、空家リフオームには上限 50 万円の補助金あり。）

意見：もう既に取り壊した。例のお寺の事業（観光街並み魅力アップ事業）に掛かりまだもう１件取り壊す。観光客増加の予感はあるが、開発の為の立ち退きで住民が町外へ出てしまい地区の人口が減っている。立退き者が地区内にとまれるやり方をやってもらうのが一番いいのだが。【志比公民館】

問：小中学校の数は減らさないという方向か。【志比公民館】

答：行政の今の考えは 2060 年に人口１９，０００人維持を目指す人口ビジョンを達成し、統廃合しない方向で考えている。

意見：現在、地区において新たに加わった新住民の受け入れ対応に課題がある。これらの住民同士が交わるには大きな課題がある。また、地域では、宅地開発で新しい区が誕生し、その地域間での区単位の受け入れ態勢も問題があると思う。議員は、区長・地元住民が積極的に解決する方法を考えるべき。【ふるさと学習館】

問：現在行政では、いろいろな施策支援事業を実施しているが、若い世代にとってありがたいとあまり感じ取られていない。人口増については、3 人目を出産した場合、その夫婦世帯に金額は適当か否かわからないが例えば一千万円を支給。これを年額 50 万円とし 20 年間支給するというような「にんじん」作戦施策を行政にしてほしい。【ふるさと学習館】

答：金額はともかく、若い夫婦世帯の現状を見据えた施策案と受け止め議論していく。

問：人口増を見込むのであれば、他の市町がやらないようなオーソドックスな手法を考え、地域の過疎化問題とは別に、学校の統合問題の対応も先を見つめ早く実施した方が良い。このままだと永平寺地区や上志比の子供が育たなくなる。【清水交流センター】

答：この課題は大変大きい。永平寺町全体でとらえた将来展望を見据えて、地域住民とよく議論し課題に取り組む。

問：企業誘致もよいがそんなことではないと思う。例えば、永平寺町内で月給幾らかの低所得企業で住民は生活できないならば、町独自の助成施策を打ち出し、住民が町内の企業雇用に対応できるような、特徴のある町づくりで対応をしてほしい。　【清水交流センター】

答:町民の理解が重要と思う。若い夫婦世帯の現状を見据えた施策案と受け止め、安心して永平寺町内に住めるよう議論していく。

問：他市町では、町内で働く住民のアパート代等の助成がある。永平寺町も取り組んでほしい。【清水交流センター】

答:安心して永平寺町内に定住できるよう「出会いよし。子育てよし。働いてよし。住んでよし」を、永平寺町の実現に向け議論していく。

問：学校の統合については、今後10年先を見据えた町づくりを考えるべき。中々バランスは難しいが、特に中学校の統合が急務であると思う。また、小学校の北・南については、地域住民の運動会や各種行事活動は、大変うまく活動しているが、一番大切なのは子供の教育ではないか。【谷口コミュニティセンター】

答:この課題は大変大きい。永平寺町全体でとらえた将来展望を見据えて、地域住民とよく議論し課題に取り組む。

問：人口増、雇用等に向け企業誘致を進めるが、町内の土地に関する規制を解除しなくては到底無理ではないのか。農地の乱用を避けるため規制したことが、現在永平寺町では自分で自分の首を絞めている。この規制を解くようにしなければ本町も夕張市になりかねない。【谷口コミュニティセンター】

答：最重要課題として認識している。

問：ある町では、空き家をおためし住宅として活用している。本町もこの取り組みをしてはどうか。【谷口コミュニティセンター】

答：安心して永平寺町内に定住できるよう「出会いよし。子育てよし・働いてよし。住んでよし」を、永平寺町の実現に向け議論していく。

問：永平寺町の基幹産業は何か。【吉野堺集落生活改善センター】

答：本町の基幹産業はやはり繊維産業と考えるが、今後伸びてくるのは観光産業と思う。何が衰退しているかと考えると繊維産業は以前と比較すると衰退している。

問：町は何の産業に力を入れているのか。【吉野堺集落生活改善センター】

答：観光に力を入れている。

問：観光はやはり永平寺なのか。【吉野堺集落生活改善センター】

答：主は永平寺であり、永平寺に人を呼ぶことと考える。訪れた観光客にどうやって、町内を周ってもらうかの動線を考えている。福井県も観光の目玉は“ZEN”として、県・本山・町の三

者が協力する。滞在時間を延ばし、使っていただく金額を増やしてもらうかを考えている。本年度の当初予算で、観光まちなみ魅力アップ事業として２億３千万円余りを予算化して、本山の参道の整備・永平寺川の改修を行う。また、本山も宿坊の建設を計画している。

観光の広域的事業として、以前の越前加賀宗教街道をグレードアップして越前加賀インバウンド推進事業になった。これは外国人観光客の誘客に広域で対応していこうというものである。

問：朝倉氏遺跡からの流入は無いのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：朝倉氏遺跡は１００万人を超えたと聞いている。広域連携もしている。近隣市町で観光の動線も考えていかなければいけない。広域連携による相乗効果を狙うべき。アンケートによれば１か所だけの観光は少なく、複数の観光地を訪れている。ニーズに合わせることが必要。

問：人を集めるには何が大事か。観光としては永平寺しかないのでは。

【吉野堺集落生活改善センター】

答：永平寺町では、永平寺を基本として観光に力を入れている。永平寺に来た観光客をどのようにして町内を巡回させるか検討している。

意見：恐竜街道があるが、どこを走っているか知っているか。恐竜博物館に行く客も取り込むべき。

【吉野堺集落生活改善センター】

問：広域的観光ルートはできているのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：４市１町がお金を出し合い、これから計画される。

問：外国人観光客に対応できる人は服装でわかるようにしているのか。

【吉野堺集落生活改善センター】

答：総務省の試験事業で、タブレットとスマートフォンを利用して観光案内等の情報を外国語に翻訳するシステム事業が本町に指定された。使えるようになるのは、早くても８月中旬ごろの予定。AR アプリ普及事業も外国人観光客対応で、災害情報も含まれる。

問：外国人観光客はどこの国の人が多いのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：最も多いのは台湾・韓国など東南アジアでその次が欧米諸国である。これは昨年のミラノ博で永平寺を PR したのでその影響と考える。

問：資料にある事業で「拡充」と「新規」とあるがどういうことか。【吉野堺集落生活改善センター】

答：「拡充」とは、いままでにもこの事業はあったが、内容を拡大したものである。また、「新規」は今年度からの新たな事業である。

問：吉野堺は中部縦貫道ができて、利便性が良いのに発展性が無い。拡充事業で企業誘致の目標が１件としているが何か当てが有っての話なのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：具体的には無い。平成３１年までに１件の目標である。今年になって５件の目標をもつよう

に町長が進言している。この地区は、福井北ジャンクションインターに近く利便性は高いが、いろいろな規制があり発展しにくい。

問：松岡の都市計画が進んでいない。企業誘致をするにしても都市計画がネックになっている。何のための都市計画なのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：ここの都市計画は福井市の都市計画に含まれており、福井市との協議が必要。

問：協議の土俵に上げてもらい、この地区を発展させたい。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：一般質問でも質問しているが、福井市の都市計画なのでという回答である。議会としては働きかける。

問：納戸坂の話は動いているのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：納戸坂もストップしている。福井市との協議が必要。福井市のメリットをもって話し合わないと難しい。

議員質問：吉野堺地区にはたくさんの子どもがいるというお話だったが、どうしてたくさんいるのか。　【吉野堺集落生活改善センター】

町民回答：自然増である。ここで結婚して留まる若者が多い。団塊世代の孫で三世代同居が多い。土地も家も広い。２０年ぐらい前は金の卵というくらい少ない時があった。老人の一人暮らしや老老世帯から子どものいる家庭が増えている。特に集落センター付近には子どもが多い。住む所がないと子どもは増えない。地元で働く所が無いといけない。観光も大事だが地元の雇用を増やして地域の新陳代謝が必要。

答：国や県の補助金で観光事業を充実させ、そこで発生したお金を違う所に使う好循環を構築することが今の事業。宅地造成については地区の協力が必要である。

問：丸岡や春江に人口が流出する理由は何か。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：福井に近いが、交通の渋滞がひどい。なぜなのかわからない。

意見：若い人が飛びつくのはレジャー施設やレストランなど楽しい施設が多い。そういうまちづくりが必要。　【吉野堺集落生活改善センター】

意見：吉野堺は市街化調整区域等全ての規制をはずしてもらいたい。そうしないと発展できない。　【吉野堺集落生活改善センター】

問：基本目標Ⅰの中に永平寺町の地域特性を活かしたとあるが、地域特性とは何か。　【吉野堺集落生活改善センター】

答：地域特性としては三世代同居率が非常に高い・共働きも高い・子どもが生まれても働きやすい環境を支援する。永平寺町民は勤勉で実直である。

意見：人口が増えるようなことは何もしていない。永平寺地区の人間が冷たくなっている。朝、近所の人にあっても挨拶する人がいない。そんな地域に誰が移住するのか。その点上志比の子どもには頭が下がった。道を横断しようとして車が来ればどうぞと合図して、車を先に行かす。車が止まってくれれば、ありがとうと手を挙げ渡り終わると運転者に一礼する。中国のことわざに、家を建てる時はその地区の人間性を調べてからにすべきという。永平寺町に住んでいる人を温かい人にすることが重要。

中学校では登下校時に校門で一礼しているが、テレビの影響もあるのか横断歩道を足で蹴飛ばしたりする、一部行儀の悪い生徒も見かける。

鳴鹿の造成地に家を建てた人になぜここに家を建てたのかと聞いたら、家を建てるのは一生に一度である。ここに建てると良かったと思える所を県内で探した。鳴鹿は日当たりが良い、景色が良いと言ったが、人が良いとは言わなかった。永平寺町はあったかいと思われるように議員や職員が努力すべき、人づくりが肝心。　【鳴鹿集落改善センター】

問：吉野の山をとってしまえば松岡の人口は増えるのではないか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：山のふもとまで町は道を造ったが、福井市が力を入れてくれない。

問：大きな企業が来てくれればいいが、本社の所在地が福井市と吉田郡では福井市にしたいので企業誘致できないのではないか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：福井北インター付近は複数の規制があり、開発が進まない。

問：大野・勝山へ行くのに永平寺町は素通りになる。永平寺で降りてどこか寄るための施設を造らないといけない。町は力を入れ、本山の力を借りるべき。傘松閣をもっと有効に使うべき。大きなお金をかけてなんにもなっていない。傘松閣でスポーツの合宿や新入社員研修として１ヶ月間のプログラムで修業をしてはどうか。１週間は本山で座禅を組み、後は傘松閣で精神修行をする。考えれば何でもできるのに、考えないからだめだ。永平寺川も門前まできれいにしてしまえばサクラマスも門前まで遡上する。　【鳴鹿集落改善センター】

答：門前の高田散髪屋さんから上の永平寺川は県が工事をする。

問：東古市地区の永平寺川は土砂に埋まって、サクラマスは遡上できない。議員が奉仕活動で掃除をすればよい。　【鳴鹿集落改善センター】

答：九頭竜川はサクラマスの聖地となっている。飯島にサクラマスと鮎の飼育場を造る。

意見：堤防に桜の木が何本あるか知らないが、今年も花見ができるくらいである。そういう物を活用しないといけない。中州もきれいにして子どもの遊び場にしないといけない。　【鳴鹿集落改善センター】

問：制度的には百花繚乱でたくさん抽出しているが、目標値が少なすぎる。志比北地区と上志比地区は人口が減っているので、定住促進の重点地区に指定したのかもしれないが、永平寺町としては人口が増えればいいので、エリアを限定しない方が良いのではないか。繰り返し

広報することも大切。保育園について言えば、夜遅くまで働いている母親もいるので、民間の保育園も必要になる。今後２０年は高齢者がますます増加傾向で施設が必要になる。松岡にある施設は利用料が高い。年金も少なくなっている。子どもとの同居も難しいので低料金の施設が必要となる。えちぜん鉄道の利用が悪い。通勤時間帯は高校生で電車が満員である。その時間帯は電車の車両を増結したり本数を増やすことはできないのか。たまたま利用した時に、降りたい駅で降りれなくて終点まで行ってしまった事がある。永平寺町は住むにはいい環境だと思う。働くものにとって子どもを預けやすい、世帯を増やそうと思うと行政からの援助があり教育ローンの利息の補給など制度はあるが、より充実したものを作ってもらいたい。バラエティ―も必要だが目標にもやる気を見せてほしい。

【鳴鹿集落改善センター】

答：地域によって差があることは不公平であるが予算もある。えちぜん鉄道は観音町の乗車が多く満員になり、朝夕は２両編成で走っているが日中は１両である。通学定期の補助についても進言している。保育園に関して言えば、松岡地区では小学校区以外の幼児園に通園している子どももいる。希望の幼児園に入れなくても、同じ小学校区内の幼児園に入れるようにしてほしいと、一般質問もしている。見直しをかけてもらえるように努力していく。低料金の老人施設も、介護保険制度が改正となり入所介護から在宅介護に移行しているためなかなか難しい。

問：議員定数減は既にやっておくべきであり、現在の１８人は多過ぎる。今、語ろう会で議員定数について説明しているが、これは議会の演出である。日本の人口が１億人を切る現在、目標を立てることは良いが、人口減少を止めるのは絶対無理である。夢を追いかけているのではないか。　　　　　　　　　　　　　　【浅見集落生活改善センター】

答：人口を増やそうと言っているのではない。人口の減少率を小さくしてほしいと言っている。

問：若者が大学へ進学するため町から離れていくのであれば、外国から人に来てもらう手段として、不足している看護師として雇用し、出会いの場を作るというのはどうか。国内だけで嫁探しは難しいのではないか。　　　　　　　　　　　　【浅見集落生活改善センター】

答：せせらぎ地区の宅地造成時の状況説明、上志比小学校は児童数が多い時で３１１人いたが現在は１３４人に減少している。機能補償道路、中部縦貫自動車道が完成すれば、福井へも短時間で行けることから、住宅団地を造るよう要請している。女性が嫁いでくれるには、企業誘致を進める中で考えていくべきかと思う。

問：児童の夜間預かりの施設を造る案はどうか。　　　　　　【浅見集落生活改善センター】

答：児童を預かる体制としては、現在は放課後児童クラブがある。放課後児童クラブは基本１８時までである。夜間預かりについては、児童のみならず幼児についても町の拡充事業になっている。

問：機能補償道路の完成や中部縦貫自動車道も平成２９年には完成することから、上志比地区に企業誘致を考えるべきではないか。また、何らかの優遇措置を考え宅地造成を進めては。

【浅見集落生活改善センター】

答：上志比地区と永平寺北地区を定住促進地区として、補助金も手厚くなっている。また、総合戦略の中で取り組むこととしている。

意見：政策を考える時、町民の好むことでなく、町民のためになることをしてほしい。
【浅見集落生活改善センター】

○その他（総務常任委員会関係）

問：町に区有地（公園）と町有地（集会場用地）の交換を申し出ているが、評価に差があるなどから議会に相談も必要と結論が出ていない。地代は毎年１０万円払っている。
【志比堺ふれあい会館】

答：土地の交換については町の条例がある。評価額の差が大きな交換となると問題も大きい。
会館用地の土地問題は、旧町営住宅跡地の当時の区からの申し出の事は聞いている。

問：森ビルを使っているが、費用はいくらかかっているのか。地元の業者を使うべきではないのか。 **【志比堺ふれあい会館】**

答：町の計画では１０００万円程の支出もある。

問：役場の職員で部署を１年くらいで移動する職員がいるが、そのことは問題があると思う。
【殿村ふれあい会館】

答：意見があったことを伝えておく。

問：防災対策について、一昨年の「避難準備情報」の発令に対する行政の対応がおろそかであった。職員一人一人が理解し、行動ができるようしっかりやってほしい。 **【清水交流センター】**

答：行政・議会もしっかりとした対応が求められるが、災害時は、行政も手が回らない。その地域の自主防災連絡協議会の取り組み強化をお願いしたい。

問：永平寺町を活性化するために、削減した予算を、本年は○○の予算に全力で取組むような、住民に分かりやすくこじんまりした行政を目指してほしい。 **【清水交流センター】**

答：民意吸収し適切に課題に取り組む。

問：街灯が間隔が長いため途中闇になっている箇所がある。通学する子供が犯罪にあわない為にも街灯を設置して欲しい。 **【藤巻集落改善センター】**

答：設置個所の地権者の了解を得て、区から要望してください。

問：地区の防災会議があり今年から地区ごとの防災訓練となった。地区ごとの訓練となった理由は何か。地区ごとに手押しポンプ、ジャッキ、カッターなどの防災器具を備えると、補助の上限がある為地区負担が大きくなる。どうしても必要な標準機械器具を町で指定して、その分については１００％助成に出来ないか。近くに松岡断層もあり対応を検討して欲しい。

【春日３丁目ふれあい会館】

答：昨年までは町全体で実施したが、今年から地区の実情に即した自主防災力を高める為に地区ごとに行う方向になった。

答：町に伝える。地域による異なる災害の想定に対応した訓練の為でもあると思う。

問：災害時要援護者の確認リストは今でもあるのか。　【春日３丁目ふれあい会館】

答：今でもあるが、個人情報保護の観点から取扱いが限定的になっている。

アンケート要望：翠荘・なかよし幼児園北側の町道を中学校の生徒が登下校に利用するが、街並みを少し外れているため街灯がない。冬季間や部活後の下校時は暗くなり危険。なかよし幼児園グランド北側の道路沿いに街灯を２基ほどつけてほしい。

問：阪神大震災、東日本大地震、熊本地震で多くの被災者、避難者が発生した。阪神大震災体験者として感ずることは、こうした状況下では大型車は通れず小型者・中型車が役に立つ。災害時の輸送力として中型車の確保策を講じておく必要を感じた。避難者への生活物資を運ぶ災害時の輸送インフラ対策について町はどう考えているか。　【志比公民館】

答：防災に対する町の対応は、新消防庁舎を拠点に、町長を本部長として防災組織を立ち上げることになる。自助・共助・公助を掲げながら地域防災リーダーの育成を図るべく連絡協議会も立ち上げた。行政だけでの震災対応は無理なので、住民との協働を目指し９０地区すべてに自主防災組織を立ち上げた。これから自主防災組織の中身を作り上げようというところです。

答：地域防災力の強化として町内８ブロックに自主防災連絡協議会を立上げ自助・共助・公助の順で地区単位で助け合って対応していくというのが今の町の考え方です。

答（行政）

地震・土砂災害等、大規模災害時に備えるため本町では、災害時における応援協定の締結を行い、有事の際の対応にあたることとしている。

災害復旧に関する協定の中で、災害時における公共土木施設の応急対策に基づき、輸送インフラ対策について、道路啓開を地元建設業等の協力を得て行う。

（災害復旧に時間を要する場合には、自衛隊の出動要請も考えられる）

道路啓開後は、避難者、被災者のところへ生活物資の運搬が開始される。

生活物資の調達・供給に関する協定のなかで、災害時における生活物資の調達・協定を、永平寺町商工会、コメリ災害対策センター、福井県民生活協同組合、セッツカートン（段ボール簡易ベッド等）と締結しており、生活物資の供給協力等を行う。

道路輸送困難な場合には、ヘリでの対応も考えられる。

問：年金は偶数月にもらえる、介護保険料・後期高齢者健康保険料・国民健康保険税が年金から差し引かれる。それらは７月に通知が来る。４月に年度が変わるので、４月の年金が支給される前までに通知できないのか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：役場の税金の仕組みは７月中旬の通知になっている。
保険料は前年度の所得割・均等割・資産割がある。所得割が確定しないと保険料が確定できないのでどうしても７月中旬の通知となる。

問：熊本で災害が発生した、本町はこのような災害にどう対応しているのか。対応していないのか。永平寺町に活断層はあるのか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：熊本震災の義援金の募金はしている。

問：永平寺町は水やシートは用意しているのか。　【鳴鹿集落改善センター】

答：熊本県からはまだ要請が無い。
本町の蓄えとして、新消防署の車庫の地下に飲料水の貯蔵タンクがある。

問：熊本の震災で耐震工事をした庁舎が壊れたという報道があったが、永平寺町は大丈夫か。
【浅見集落生活改善センター】

答：永平寺町の役場本庁舎や小中学校の耐震工事は終了しているが、公共施設の中には耐震工事が未着工の施設も有る。耐震工事が終了していても、今回のように震度７が何回も発生した時は崩壊しない保証はない。耐震工事は国の耐震基準に合わせ対応している。
上志比地区では、小中学校の校舎は新しい。小学校の体育館は２～３年前に鉄骨筋かいで対応済み。サンサンホールは耐震基準に適合している。

○その他（教育民生常任委員会関係）

問：地域福祉、介護問題、かかりつけ医問題で、本町には医院が７軒あるが訪問してくれるのは３軒だけで県下最低である。これでは安心できない。大病院が対応できないのなら、町営の診療所を設け大学病院から来てもらえばよい。　【志比堺ふれあい会館】

答：在宅医療と国の方向性もあり、大学病院も地域医療に目を向けてきたが、今後の方向は本町からは見えていない。

意見：本町の介護認定率はわからないが、健康保険を使わない元気な人には、保険料を安くしてはどうか。　【志比堺ふれあい会館】

問：北地区の少子化に対する計画は無いのか。　【殿村ふれあい会館】

問：児童・生徒数が少ないからダメだということは無い。少ない生徒にそれなりに学力をつけることも必要、魅力ある学校を目指すことも必要だ。行政として対応して欲しい。

【殿村ふれあい会館】

答：北小学校は今も魅力ある学校だと思う。

答（行政：学校教育課）

① 少人数を生かした丁寧な学習指導を行っている。

② 積極的に他校との交流をしている。（小小連携）

③ 地域・家庭・学校協議会委員が北っこ先生として読み聞かせなど日々の活動を支援している。

④ 地域の自然と人材を活かした体験活動が充実している。

答（行政：総合政策課）

① 永平寺町は、現在若年者の住宅取得要する経費及び子育て経費の一部を助成する「住まいる定住応援事業」を展開している。特に、重点地区である永平寺北地区及び上志比地区に対しては、他の地区より多くの助成をしている。

② 人口減少の著しい永平寺北地区と上志比地区を最優先に、宅地開発事業を実施する。町外からの本地区への転入を図ることは当然ですが、地区内の若者（二男等）の転出・転居防止を図りたいと考えている。

町としては志比北小学校周辺で10区画未満の小規模開発を考えているが、この事業は地区の皆様のご理解とご協力をいただき実施する。

企業誘致に関しては、当地区で進出予定の企業があるので、町も企業に対し側面から支援したいと考えている。企業の進出で雇用の創出にもつながり地区の活性と賑わいにもつながると考えている。

意見：公民館活動について、ただ頑張れでは何をどうして良いかわからないのが現状。町独自の活動方針を立ててまちづくり指導をしてほしい。　　【ふるさと学習館】

答：民意吸収し積極的に課題に取り組む。

問：学校給食無償化の中で、アレルギー食の対応はできているのか。

【谷口コミュニティセンター】

答（行政：学校教育課）

① 町アレルギー対応マニュアルに基づき対応している。

② 除去食対応が可能な場合は、保護者に献立・食品等の確認を依頼します。

③ 除去食対応が困難な場合は、自宅から弁当持参を依頼しますが、この場合１食につき小学校２５８円、中学校３０９円を助成します。

問：６５才になり介護保険の扱いが変わった。役場で、６５才になって保険料支払いがどう変わるのか、将来介護保険を利用する様になった場合、永平寺町では程度に応じてどのような利用ができるのか聞いたが、紋切り型の規則説明でなくもう少し聞く側に立った分かりやすい説明をして欲しかった。永平寺町の介護保険利用の内容レベルは他の市町と比べて良いの

か。自宅介護は難しい時代になった。最後まで施設利用できるのか。

【藤巻集落改善センター】

答：他市町と比べいい方だと思う。最後まで全ての人が利用できるかは難しいかも知れないが。社協で富山市へ空家を利用した介護施設（小規模多機能？）へ視察に行ったが、ショートスティも出来る温かい雰囲気で良かった。

答：空家情報バンクに登録された物件は町のホームページで外観・内観・間取り等が閲覧出来る。空家情報バンク登録の物件を購入又は修繕する場合は補助金が利用できる（上限５０万円）。

問：道の駅と温泉の来客推移はどうか。　　　　　　　　　　　　　【藤巻集落改善センター】

答（行政：建設課）

道の駅については、３月１９日のオープン以来多くの方にご来場いただき、来場者数は４月１日で３８，３０９人、５月１日現在で８１，９４０人、ゴールデンウイーク後も好調で５月１５日には１０万人に達成した。今後、アユ釣りや秋の行楽期及び、冬場のスキー等、シーズンによって来場者がどう変化するのか、年間を通して来場者の状況を見極めていきたいと思う。

答（行政：福祉保健課）

温泉については、平成２５年７月のオープン以来、平成２８年３月末現在で２５０，６１８人の入館者があった。

平成２７年度の入館者数は、２５年度比で１０９％、２６年度比で１１４％となる、９８，５１２人であり、特に２月、３月は１万人を超える入館者があった。勝山の水芭蕉がメンテナンスで休館したことも影響しているものの、休館に入る以前の月でも前年比１１０％と、非常に多くの方に喜ばれている施設となっている。

問：学校給食の無償化はなぜ一律なのか。児童手当などは、所得制限があるのに。無償化によって給食の量が減っているのではないか。小学生と中学生の子どもがいるので、恩恵は受けているが一律無償化はおかしい。　　　　　　　　　　【吉野堺集落生活改善センター】

答：拡充は地元産品の拡充である。量が減り質も落ちているのではという話を聞いているが、確認すると量も質も落としていない。行政も中身の変更はしていない。食材の価格に変動により年度末に予算が足りなくなることもある。予算が不足した時は補正予算を組むなり、若干保護者から徴収してはという話もしたが、給食は無償化しているとの回答だった。ただ、給食無償化を決めた時に財政の状況によっては見直しするとしている。保護者の意見は尊重したい。

問：子どもが食べることなので、子どもが満足すればそれで良い。一人５千円なので払ってもよい。無償化に所得制限が無いのがおかしい。　　　　　　【吉野堺集落生活改善センター】

答：平成３２年になり交付税が５億円減少すると、給食の無償化ができるかどうか疑問である。学校の耐震工事は終了しているが、老朽化している学校もあるので、建て替えということになると給食の無償化が難しくなることも考えられる。

問：学校が建て替えになると統合も考えられるのか。　　　　【吉野堺集落生活改善センター】

答：児童数がかなり減少している所もあるが、地域に学校が有ることが地域を支えていると言っている議員もいる。現状としては統合の話は無い。将来的に統合しないと教育上支障が有るようになれば統合も考えざるを得ないと思う。

問：幼児園・幼稚園は民間委託しなければいけない。今どき公立はおかしい。議員の中に民間委託に反対している議員はいるのか。民間委託すると町の財源が軽くなり、保育士も一生懸命頑張る。公立の場合保育士も町の職員である。民間委託を議員が行政に提案すべき。

【鳴鹿集落改善センター】

問：民間委託になると給料が下がる。給料が安くなると保育士のなり手が無くなる。

【鳴鹿集落改善センター】

答：本町の保育士は約半分が正規職員で後は非常勤職員である。年度末になると、私立幼稚園の正職員に合格したので、という理由で辞められる嘱託保育士もいる。保護者のニーズも多様化しているので、そのニーズに応えるには選択肢を多くする必要がある。

問：老人ホームは公立か。　　　　【鳴鹿集落改善センター】

答：本町には３施設あるが、全て私立である。

意見：給食費は保護者が支払うべきであり、子どもに対して責任を持つことは当然のことと思う。親が子どもを養育することによって、子どもは親を介護することが当然と思わせる教育が必要では。　　　　【浅見集落生活改善センター】

○その他（産業建設常任委員会関係）

意見：道の駅の運営は民間に任せたほうが良い。　　　　【志比堺ふれあい会館】

意見：上志比で県外から来て鮎釣りが好きな人が滞在用に空家を買う例が２～３件ある。地元に溶け込んでいるので住みやすいのかも知れない。田舎が好きな人もいる。

【藤巻集落改善センター】

問：道の駅と温泉の来客推移はどうか。　　　　【藤巻集落改善センター】

答：道の駅来客は７万人／年と聞いている。永平寺温泉は町外からの人が多く混雑している。

意見：丸勝線の三差路交差点から鳴鹿橋北詰までの舗装がガタガタである。現場を見て修繕し

てほしい。集落の中も道路が悪く、地区要望はしているので力添えしてほしい。

【鳴鹿集落改善センター】

問：鳴鹿地区で水田の集約事業を進めているが、補助金は申請してみないと採択されるかどうかわからないと農林課は言っている。採択されないと５～６０００万円かかると思うが。

【鳴鹿集落改善センター】

答：機械を買って補助金が採択されなかったので、自腹を切るというのではなく、国の基準をクリアして採択されれば町もその対応をする。

意見：明るい町をPRするには、道路が整備されていることが一番だと思う。本町には国道が２本あるが、センターラインや停止線が消えているので、これをきれいにすることがイメージアップにつながる。県に働きかけてほしい。　【鳴鹿集落改善センター】

意見：他の市町と比較して永平寺の道路ほど走りやすい道路は無いと評判がいい。永平寺町の町政についてマスコミも評価している。永平寺町はすばらしいという評判なので、自信を持ってほしい。

【鳴鹿集落改善センター】

問：冬の除雪対応が、合併前に比較して遅くなっている。もっと適切な対応ができないのか。

【浅見集落生活改善センター】

答：除雪に関しては、毎年、本会議をはじめその他委員会でも行政側に対して、住民の要望に応えるよう提言している。今後、適切な除雪体制で対応するように進言する。

問：空き家が動物の住み家になっている。何とかできないか。　【浅見集落生活改善センター】

答：空き家を取り壊して更地にすると土地の固定資産税が６倍になることから、空き家対策について行政対応を質疑検討している。空き家の状況と対応の是非を現在調査検討している。特定認定の是非は非常に困難である。

○その他（議会関係）

問：議会だよりの中の議員の出欠表について、出欠の差が大きいが何らかのペナルティーが科せられているのか。　【谷口コミュニティセンター】

答：議会としては特に罰則はない。